

NeXT朝日税理士法人ニュース

4月号 VOL. 034

NeXT 朝日税理士法人

〒491-0873

一宮市せんい2-9-16 ササキセルムビル2F

電話：0586-75-5415 FAX：0586-75-5405

<http://next-asahi.jp>



笑える日本の軽減税率

消費税率が来年4月に10%になるのを機に8%の軽減税率が導入される予定です。

イギリスは標準が20%で軽減税率は食品が0%、新聞が5%です。ドイツは19%と7%。カナダは10%と0%です。これが世界の軽減税率です。日本も10%と5%なら納得できますが。

【法人に対する利子割が廃止されました】

平成二十五年度の税制改正により、平成二十八年一月から法人に対する利子割（地方税）が廃止されました。

これにより平成二十八年一月一日以降、法人に対して支払われる預金利息等から地方税の特別徴収がされなくなりました。

利子割は、銀行や信用金庫などの預金や公社債などの利子等に課税

され、金融機関などが利子等を支払う際に特別徴収していました。

具体的には、これまで国税と地方

税を合わせて20.315%の税率で課税されていたものが、そのうちの地方税5%が廃止され15.315%になりました。仮に預金利息が10万円の場合、国税の15315円と地方税の5000円で合計20315円が特別徴収されていたものが、改正後からは国税の15315円のみとなりました。法人は、法人税割額算出の基となる課税所得に利子も含まれるので、そのままでは利子割との二重課税になってしまいます。そのため法人は利子割額を計算し、状況により控除して納税もしくは還付を受けていました。今回の利子割廃止により、法人や各都道府県はこれに伴う事務作業が軽減されることとなります。また各都道府県においては、還付金以上の振込手数料を使って還付することも少なくともなかったようで、こうした負担も軽減されるようです。なお、利子割の廃止は法人だけで、個人に対して支払われる預金利息等については従来通りに特別徴収されます。



袖振り合うも多生の縁！～ステキな顧問先をご紹介します♪



福祉の活動をはじめて20年・・・地域に根ざした活動をつづけます！

【NPO法人一宮まごころ様】

NPO法人一宮まごころは**誰もが共に暮らせる地域**を目指しております。新たな**地域支援事業**として居場所作りを推進してまいります。

さをり織りを始めました。

事業内容：市民事業（サロン、移動サービス、在宅支援サービス等）
介護保険事業（訪問介護・通所介護・居宅介護）
障害福祉事業（居宅介護・移動支援・障害児通所支援）

住所：一宮市文京一丁目4番6号

電話0586-73-8707

【今月の教えてキーワード：マイナス金利】

金利がマイナスになること。通常はお金を預けると金利を受け取ることができ、マイナス金利が、マイナス金利下では逆に手数料を支払うことになる。2016年1月、都市銀行や地方銀行などの金融機関が日本銀行に資金を預ける際の金利をマイナスとする政策が決定された。これは、金融機関が日本銀行に資金を預けると手数料が発生し損失となるため、その資金を企業への貸し付けに回すなど結果的に経済を活性化させようという狙いがある。

【だからこそ「今日」という一日を大事にしたい】

極めて短い時間を「刹那（せつな）」といいます。仏教の時間の概念において最小単位である「刹那」は、約75分の1秒だといわれています。つまり「一瞬」です。絶え間なく続いているように思える時間は「刹那」の連続で、あっという一瞬の間にすべての物事が変化していることとなります。刹那の連続で過去が現在になり、さらに未来へと連なっていくのでしょうか。この世に存在するあらゆるものは移り変わっていきます。すべてが一刻一刻、一瞬一瞬と変化して、変わらないものは何ひとつありません。それが「諸行無常」で、お釈迦様の悟りを表す言葉のひとつです。

「諸行無常」の意味を頭では理解していても、実感するのは難しいものです。久しぶりに会った人の変化には敏感でも毎日、顔を合わせている人の変化には気づきにくく、何も変わっていないように見えることさえあります。自分のことも同じでしょう。10年前の写真を見れば変化は一目瞭然ですが、1年前くらいの写真では変化が読み取れないかもしれません。けれどそれは錯覚です。私たちは1年ごと確実に変化しています。1年経てばひとつ年を重ね、その分だけ老いてもいます。1年で変化しているということは、1日ごとにも変わっているわけです。1日で変化しているのなら1時間、1分、1秒、刹那ごとにあらゆるものが変化しているのでしょうか。言い換えれば、刹那の連続で1年、10年、そして一生となっていくのです。

こうしている間にもどんどん時間は過ぎていき、すべては変化しながら少しずつ老いて人生の終わりに近づいていきます。時間は命と同じです。生まれたばかりの赤ちゃんも80歳の人も、残された時間が減っていくことに変わりはありません。実感するのが難しいだけで、誰でも刹那、刹那に命が失われています。時間の無駄遣いは命の無駄遣いだと思えば、少しは「今」を大事に生きられるでしょうか。お釈迦様の悟りには達せずとも、せめて「今日一日を大事にしよう」という気持ちで毎日を積み重ね、商売に精進していきたいものですね。



横綱になったら、引退することを考える

今を生きる!

先人の言葉

第四十八代横綱である大鵬の言葉。どんな大横綱でも大社長でも年齢を重ねれば体力や知力の衰えは避けられない。上に立つものは退路を断つ勇氣と覚悟が必要だ。

《無料相続相談》実施中です

皆様のお近くにお困りの方、不安をお持ちの方がお見えでしたらお気軽にお声をかけて下さい。

TEL 0586-75-5415

